

聖徳大学多摩幼稚園の園児募集停止について

平素より本園の教育活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

日々、園児の健やかな成長のためにご協力いただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

このたび学校法人東京聖徳学園は、令和9（2027）年度以降の聖徳大学多摩幼稚園の新入園児募集停止を決定するに至りました。

本園としても苦渋の決断であり、皆様にご迷惑をおかけすることを大変心苦しく存じております。

聖徳大学多摩幼稚園は、建学の理念である「和」の精神に基づき「いつもにこにこ元気な子ども」の教育目標を掲げ、昭和51（1976）年4月に聖徳学園多摩中央幼稚園として開園して以来50年間、そして昨年の3月までに3,278人の卒園生を送り出し、多摩ニュータウン鹿島・愛宕地区を中心とした周辺地域の幼児教育を担ってまいりました。

しかしながら、近年のコロナ禍、少子化など複合的な要因により子どもの数の減少が続いており、本幼稚園の園児数にも大きく影響してまいりました。そのような状況の中でも幼稚園教職員は、幼稚園の継続に強い意志と、保育の質の向上を常に持ち続け取り組んでまいりましたが、今後入園者数の大幅な回復が見込めず、永続的・安定的に教育活動を提供する見通しが持てないと判断し、園児募集を停止せざるを得ないとの判断に至りました。

現在、在園されている園児の保育につきましては、これまで通り全員が卒園するまで責任を持って教育を行ってまいります。

園児一人ひとりの成長を第一に考え、皆さんが安心して通園いただける環境を維持するよう、幼稚園教職員一同努めてまいります。

本園は、地域の皆様に支えられながら歩んでまいりました。今後も教育活動の充実に努め、園児の健やかな成長を見守り続けてまいります。

何卒、今回の事情をご理解いただき、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8（2026）年1月14日

学校法人東京聖徳学園
理事長 川並 弘純

聖徳大学多摩幼稚園
園長 三枝 勢津子